

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産・地場産の供給拡大

その他

株式会社 山口果樹園（栃木県宇都宮市）



【生産概要】（令和4年産）

梨350a（にっこり110a）、ぶどう30a（シャインマスカット）、ブルーベリー40a、レモン10a、その他果樹25a

【経営概要】 R2年法人化、従業員5名、パート10名（年間延べ1,250人）

代表者：山口 幸夫

果樹の生産・販売、果樹加工品の製造・販売（6次産業化）
GLOBAL GAP 認証取得、栃木県認定エコファーマー

【販売概要】 自宅直売所、JAうつのみや、プチ・マルシェきよはら（地域の農家と福祉施設が共同経営する直売所）、ネット販売、輸出

■ 取組の特徴

- ・ 菌体入り堆肥を使用することで土づくりを徹底し、土壌診断により不足する栄養素を化学肥料で補っている。また、こまめに草刈りを行うことにより、果樹園内で除草剤は使用していない。
- ・ 梨の霜害対策として、防霜ファンを100%導入している。一部ハウスを二重カーテンとしている。
- ・ ICTの活用により、果樹園・ハウス内の温度状況等をスタッフが確認できるようにしている。また、POSシステムで商品及び顧客管理を行っている。

■ 取組のメリット

- ・ 堆肥（有機質肥料）を施用することで、樹体が健全化する。また、化学農薬低減を望む消費者の声に応えられている。
- ・ SDGs達成に貢献できる取組である。また現在、栃木銀行がSDGs取組者を支援するために策定した「栃木銀行SDGs宣言」に基づく宣言書を作成中であり、地域の方々とともに持続可能な社会の実現を目指したい。

■ 新たに取組を始める人へのアドバイス

現在は新技術など様々な情報が簡単に入手できる時代だが、今確立されている技術を基礎に、まずは自分で実践しながらその土地の土壌や気候にあった栽培技術を習得していくことが大切である。少しの失敗は逆に財産になるので、失敗を恐れずにチャレンジしてもらいたい。

事務所所在地：栃木県宇都宮市上籠谷町2937

電話番号：028-667-0523

HPアドレス：<http://yamaguchi-kajuen.com/>